

● 健康・福祉

【目指す姿】

市民の自発的な課題解決と安心した地域福祉・地域医療の充実

市民が生涯を通じ、健康でいきいきとした生活を送るためには、互いに協力・連携しながら、まちづくりに取り組み、また、市民一人ひとりがライフステージに応じて、主体的な健康づくりに取り組んでいく環境づくりが大切です。

このため、市民活動団体や町内会が地域の抱える課題の解決に向けた取り組みを進めることができるよう、積極的な周知による市民の参加意識の向上と活動支援制度の充実を図る必要があります。

また、留萌市では、道内唯一の「健康の駅」を拠点に、市民の健康づくりと健康増進に向けた予防医学に取り組んでいます。集団を長期にわたり観察・介入するコホート医学研究基盤を樹立し、そこに大学や企業の研究を誘致して地域の活性化を図っていますが、生涯を通じた健康づくりには、市民も率先して取り組まなければなりません。

さらに、超高齢社会に対応するため、市民一人ひとりが、医療や介護が必要な状態となっても、できる限り住み慣れた地域で安心して生活を継続し、その地域で人生の最期を迎えることができる環境、いわゆる「地域包括ケアシステム」の充実に取り組む必要があります。

併せて、地域センター病院の機能維持及び市内医療機関における医療スタッフの確保など地域医療の充実を図るとともに、いきがづくりや自立を支える生活支援等による地域福祉の充実に向けた取り組みは今後も重要になってきます。

全ての市民が健康な心と体で、元気に暮らし、活力ある地域社会を目指し、市民が健康であることを願う「健康都市宣言(H17)」の趣旨に基づきさらなる施策に取り組めます。